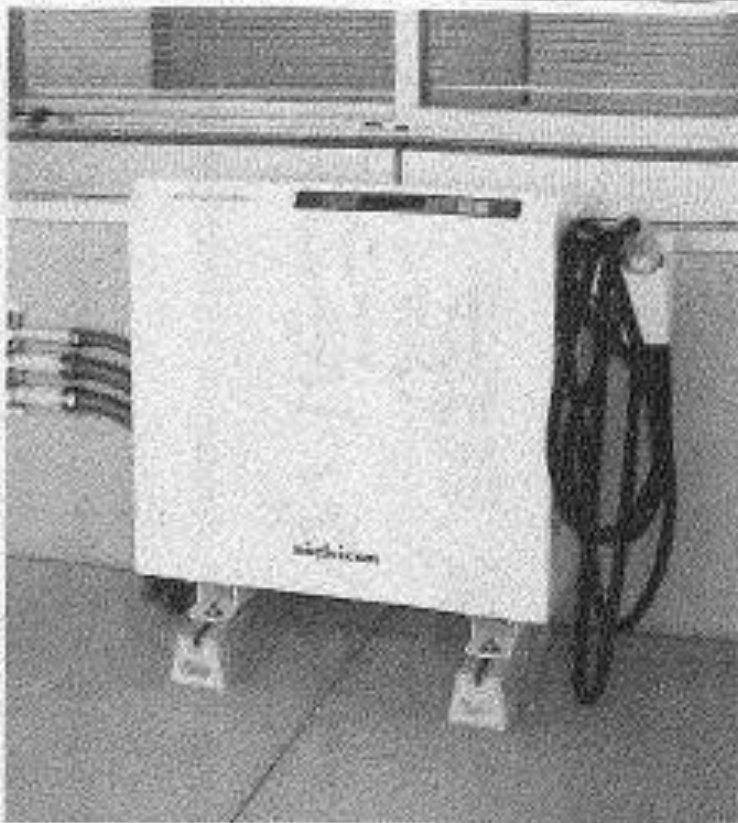


# 本社工場にV2H設備

## フロンテック研削工業所 太陽光電力を融通

【浜松】フロンテック研削工業所（浜松市中央区、小粥隆太郎社長）は、本社工場（同区）敷



地内に電気自動車（EV）と建屋の間で電力を融通し合えるピーク・ル・ツー・ホーム（V2H）の設備を導入した。工場屋上の太陽光発電設備で発電した電気です。EVを充電したり、EVの電気を社内で活用したりできる。投資額は約170万円。

事業継続計画（BCP）の一環として導入した。電力供給が途絶した。フロンテック研削工業所は本社工場にV2H設備を導入した。

える事態になっても、事務所内の照明や通信機器への電力を確保し顧客とのコミュニケーション維持を目指す。

設備導入はエネジック（同）が支援し、経済産業省の「クリーンエネルギー自動車普及促進に向けた充電・充電インフラ等導入促進補助金」を活用した。同社によると浜松市内の中小企業では初のV2H導入事例。今後は現状1台のEVの追加を検討するほか、社員が保有するEVにも社内の充電ポートを開放する予定だ。